

くめなん ギカイ

News from Kumenan Town Council No. 90

久米南町議会だより 令和7年6月議会



一般質問

町政を問う

河原重義 P 3

1. 町道のり面及び町管理の側溝等の管理について
2. 相続放棄で所有者不明の土地や農地の有効活用あるいは対応について
3. 災害備蓄品の管理・点検業務の実施状況について

南 直樹 P 4

1. 「道の駅くめなん」について
2. 久米南町の自治体におけるDXについて

立石祐一 P 5

1. 久米南町の農業振興の推進について
- ★2. 部活動の地域連携、移行に伴う“体験格差”について
- ★3. 久米南町の観光PRについて

近藤賢司 P 6

1. 小学校統合後の跡地の活用について
- ★2. 小学校統合後の放課後の居場所について
- ★3. 小学校統合後に伴う児童生徒の通学の方法について
- ★4. 本町に観光や体験、移住・定住など『人を呼び込む』施策の充実について
- ★5. デジタル活用による行政手続きについて
- ★6. ふるさと納税の増加を図る取り組みについて
- ★7. 農業政策について
- ★8. 新庁舎北側駐車場の工期の遅れについて

小坂 守 P 7

- ★1. 地域おこし協力隊について
- ★2. 久米南町地域包括支援センターについて
3. ゴミ処理業務について

政廣幹夫 P 8

- ★1. 既存事業の持続に対する物価高騰対策を求める
- ★2. 福渡病院の透析機能を広く周知すること
- ★3. 通信制高校サポート校へのJR通学定期発行の事実は
- ★4. 学校給食費無償から町外通学を除外する正当な理由は
5. 「方針」出すまでに各自治会の3小利活用意見をどう扱ったのか
- ★6. 町職員の任命権者である片山町長に問う

光元一郎 P 9

1. 職員の定年について
2. 小中学校について
3. 町債について

※ 議会だよりに掲載できなかった質問は★で表記しています。
※ 質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

質問

笑顔いっぱいの 久米南町のために



一般質問

河原重義 議員

町道法面等の管理について

問 町道や側道の管理状況について。現在、町道の草刈り等は町内各地域の自治会に依頼していると思うが、それぞれ高齢化が進み作業が出来なくなって来ていると聞く。業者への依頼も増えてきている、町の考えも聞く。

建設水道課長 高齢化、人口

減少などから、限界が来ていると認識している。パトロールを強化し、速やかな対応に努める。

問 今後、業者委託の予算処置も、考える必要がある。

建設水道課長 令和7年度の

道路維持管理費は、昨年度より増額し町道などの防災力強化をしている。

所有者不明農地等の有効活用を

問 所有者不明農地の有効活用について。対応等を聞く。

税務住民課長 課税台帳の登

録は不動産登記の記載内容等に基づいて行われ所有者が亡くなり、届出手続き、相続登記を法

務局で行った場合、最新の情報

に基づき新たな所有者として登録される。相続放棄は、家庭裁判所の管轄で市町村への情報は通常ない。課税上の調査は実施しているが、非課税地についての追跡に至っていない。したがって、相続放棄地についての正確な情報は現時点で持ち合わせていない。

問 農業経営基盤強化推進法の

改正により、所有者不明農地の探索方法等が明確になった。それとともに覚知できない土地について、所有者の「みなし同意」が制度化され、農地中間管理事業による所有者不明農地の貸借が容易になった。本町で制度を活用した取組みの実績はあるか。

産業振興課長 農業委員会

で共有者、所有者を探索し、覚知できなかった場合、県知事の許可抗告、裁定抗告により、農地中間管理機構を介し、担い手へ利用権設定を行う。県内で活用したケースはあるが本町での実

績はない。

災害備蓄品の管理点検について

問 災害備蓄品の管理点検業務の実施状況について。

総務企画課長 南海トラフ地

震を想定し、県と27市町村で構成している。岡山県災害時相互応援協議会で定めた品目と数量を基準として備えている。

問 備蓄品それぞれの、耐用年

数、消費期限についてのチェックはできているか。

総務企画課長 食料などの消

費期限が近くなった場合は、希望される自主防災組織での訓練等にも使っている。

問 今後の備蓄品の保管場所

について緊急時に即座に対応できる場所が重要。

総務企画課長 現在は、管理

上1箇所に取りまとめている。

問 保管場所として、統合後の

旧校舎を活用することも考えられる。

質問

道の駅くめなんについて 自治体DXについて



南 直樹 議員

「散歩」さん歩でね 元気いっぱい 歩くぼく 山中 慶心

道の駅くめなんについて

問 指定管理期間は5年、現在4年2か月経つが、評価について伺いたい。

産業振興課長

コロナウィルスの影響、光熱費の高騰など大変苦労されたと認識している。

レストラン・土産物コーナーでは、町内産の野菜や果物を提供するなど、町の観光拠点として大変評価している。

問 建物・施設の老朽化について把握されているのか。財源の確保、国や県の補助金制度の活用など検討されているのか伺いたい。

産業振興課長

指定管理者から報告を受け、一般財源により修繕を行っている。

今後も計画的に修繕及び改修を進め、国・県の補助金制度等も検討していきたい。

問 現在修繕や改修の予定があるのか伺いたい。

産業振興課長

令和6年には2階会議室のエアコン、土産物

コーナーの自動ドアの修繕、1

階照明のLED化、インクルーシブ遊具の設置を行っている。

問 指定管理者の選定は、今後どのように進める予定なのか伺いたい。

産業振興課長

9月上旬から公募期間を1か月間設け審査をする予定だ。12月議会において関連審査を上程したい。

自治体DX推進計画について

問 本町におけるDXの基本方針は、どのように策定されているのか。

総務企画課長

町振興計画に触れているように、行政手続きにおけるデジタル技術の活用他、業務効率化の観点から、現在取り組んでいるところだ。

問 令和4年3月議会では「令和7年を目標にシステム標準化、

共通化について、協議を進めている。また、手続きのオンライン化、テレワーク推進の為の環境整備、公文書のデジタル化を検討していく。」との事だが、

進捗状況について伺いたい。

総務企画課長

基幹システムの標準化は、令和8年度からの移行に向け準備を進めている。

公文書のデジタル化、テレワーク・キャッシュレス決済、住民票などのコンビニ交付などの環境整備も行っている。

問 DXロードマップを描いているか。また、職員のITリテラシーの向上を図っているか。民間との連携、外部人材の登用について考えているのか伺いたい。

総務企画課長

デジタルの活用は、今後も更に進むと認識しているので、都度改善していきたい。

職員育成については岡山県のDX推進支援事業を活用し、意識付けの機会を設け、人材育成に取り組む。

業務改善に向けては、総務省事業で民間のICT人材制度の活用を検討する。

質問 久米南町の農業振興について



立石祐一 議員

一般質問

問 少子高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など、多くの課題があるが、地域の農業を守り、どう発展させていくか、町のビジョンと施策を問う。

町長 課題解決のため、第6次振興計画にある5つの取り組みを進めている。地域計画についても、32地域で策定し農業に関する個々の課題解決に取り組んでいる。

問 町内外の新規就農者を呼び込むことや、町内で農業に従事している個人や営農組織等にも後押しとなるような支援施策の拡充が必要と考えるが、現在の農業施策の成果と課題について伺う。

産業振興課長 成果について、特産のブドウ、キュウリについて、毎年、新規就農者の確保が行われている。新規就農者の初期経費も、補助金を活用し負担を抑えられている。しかし、水耕栽培については、高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加等、

課題が山積している。第6次振興計画や地域計画、中山間地域等直接支払制度の推進により、農業振興を図っていく。また、水耕栽培をはじめするには、基幹作業に必要な機械の取得に大きな費用負担を要するため、経営基盤がある程度大きくないと、栽培にかかる経費に直接影響を及ぼすこととなり難しい。集落営農等の組織化、担い手の集約化、農業機械の共同利用を進めていくことが、効果が大きいと思う。それぞれの地域において、話し合いの中で農業生産性の向上という面から、その可能性について議論いただくことに期待している。

問 本町にも、就農促進トータルサポート事業助成金があり、これから農業を始めようとする新規就農者向けの施策があるが、吉備中央町では頑張る農家応援事業補助金や美咲町では今年度から美咲町スマート農業推進事業補助金と、農業を営んでいる

人に幅広く使いやすい補助事業を実施している自治体もある。新規就農者以外の支援施策として、農業機械等に使用できる補助金事業を検討すべきではと考えるがどうか。

町長 本町に農業をするにはお金がかかる。私が思うに、農業を営んでいて、もうやめようとする方から、これからやってみようとする次の方へ、うまい形で手放していただければと考えている。一つの補助といっても中山間地で小さい田が多い。それでもやろうとする方にとって本当にありがたいことで、検討していきたいと思っている。

問 本町の振興計画の中に、農産物の高付加価値化の推進という項目に新技術の普及や先端技術の導入とあるが、農業機械は物価高騰もあり非常に値上がりしている。農業は本町の命綱であり地域の未来を支える重要な基幹産業でもある。是非前向きに考えていただきたい。

質問

小学校統廃合後の跡地活用の取り組みスケジュールを早急に！



一般質問

近藤賢司 議員

「散歩」 なかよくね みんなであるく たのしいな 坂田 柚月

問 一つ目に、小学校統廃合後の跡地活用について、各自治会から出された意向や意見に対する誠意ある返答を行うことを前回の議会でも申し伝えた。その進捗状況について伺う。

総務企画課長 町の自治会連合会との意見交換会の場において、町の方針を町長のから説明をさせていただいた。

問 提示された方針は一般的な方向性である。具体的なスケジュールはこれからであると町長からの答弁をいただいている。誠意ある対応を早急にお願したい。

問 二つ目に、跡地活用に、執行段階で地域の意向はどのように反映され、どのように合意形成されるのか、前回の議会でもお尋ねしたが、これから具体化されるとのことであった。これまでの3か月間で、執行部段階で具体的な検討はされたか。

総務企画課長 検討は特に行っていない。

問 先を見通して方針を作成

することが必要ではないか。跡地活用の専属職員の配置はされるか。

総務企画課長 具体的な職員の配置の方針は持ち合わせていない。

問 三つ目に、跡地活用については、今後、地域に向いての説明会や意見交換会を行い、地域住民の声を聞く機会を設定されるか。

総務企画課長 具体的な内容を説明できる段階となったら、様々な手法もあり、そのような機会を設けることも検討してまいりたい。まずは、新小学校が令和9年4月に無事開校でき、新たな教育環境、体制作りに力を注いでまいりたい。

問 四つ目に、跡地活用についてどのようなスケジュールで取り組まれるか。例えば、最終決定までに、地域住民の声をいつの時期に、このように聞きますなど、執行部段階で十分協議していただいて、決定までのスケジュール

ジュールを提示していただきたいが、いかがか。

町長 スケジュールは令和9年の前ぐらいから、始まるのではないかと思う。小学校の開校がまず先ということで、スケジュールは全く今のところは白紙である。

問 方針は出したが、スケジュールはまだだということであるが、スケジュールを具体化していかないと、物事は前に進まない。早急に立てていただいて、示していただきたい。

町長 令和9年になって開校してからではなく、前年度の令和8年あたりから考えていきたい。**問** 方針を今年度出しているわけ、その方針に基づいて動くのは今年度からと解釈できる。早急にこういった取り組みについてはいかないと、後手に戻るといふこともある。是非よろしくお願したい。

質問

ごみ処理業務について



一般質問

小坂 守 議員

問 ごみ処理は、自治体の責務になっており、当町においても年間相当の費用が発生しており、町民皆様の協力を頂き減量化に努める必要がある。中でも生ごみの処理は各家庭においても、コンポスト、機械式処理機があれば可能だ。各家庭の協力を得るためにもコンポストなどの購入費の助成を検討されたことがあるのか伺う。

税務住民課長 家庭からの生ごみ排出量の減量化を推進するため、生ごみ処理機を設置し、ごみの減量化、分別収集等に協力が得られるものに対して、平成14年度から平成16年度まで久米南町家庭生ごみ処理機設置整備事業補助金交付要綱に基づき、1台につき2万円を上限として補助金を交付していたが、ある程度の成果が得られたことなどにより、その後は補助金の交付は実施していない。今後については、廃棄物の減量化や再資源化を町民と行政が協力していく

うえで、より適切な取り組みを推進していく。

問 岡山市に建設中の可燃ごみ処理場の完成予定について伺う。

税務住民課長 岡山市、玉野市、及び久米南町において、共同で進めている可燃ごみ処理広域化整備事業については、令和6年度末に焼却炉の解体工事が完了し、今年度から建築工事に着手、当初計画通り令和8年度末に完成、令和9年度稼働を目指し、引き続き基本計画に基づき、可燃処理ごみの広域化を推進していく。

問 可燃ごみ処理場の完成後においても、住民の方のゴミ出し方法は現状と同様なのか伺う。

税務住民課長 現在、岡山市、建部町、及び久米南町のごみの収集運搬、及び可燃ごみ焼却や不燃ごみ、粗大ごみの処理などについては、岡山市久米南町衛生施設組合で共同処理しており、今後においても、同区域内の事務については両市町で共同処理

することを合意したうえで、令和9年度から稼働される可燃ごみ広域処理施設までの運搬方法等について有効な手法を明確にすることを目的として、現状の収集運搬業務を整理し、検討を進めており、検討結果から、国の交付金、起債の充当、交付税措置等の財政支援の対象となり、将来的な経済性が有利である他、現在とほぼ同様の体制でごみ処理ができ、住民の皆様の利便性が維持できることから、現在クリーンセンター敷地内に可燃ごみ中継施設の建設に着手している。区域内の収集場所、曜日、ルート等のゴミの出し方については現状を維持、クリーンセンターへの直接持ち込みは、混同ごみの分別、指定ごみ袋、中身の見える透明な袋の利用等、今後、岡山市ルールに改める必要があるため、来年度から、順次、住民へ周知を行う予定です。

質問

自治会に依頼し回答のあった 3小跡地利活用意見を役場の 中ではどう協議したか



一般質問

政廣幹夫 議員

「散歩」 歩いてく いろいろな春に 出会ったよ 坂下真莉奈

問 今年1月24日に総務企画課長が起案し、副町長と町長の3人で決裁した自治会意見をさび分けするような3小利活用「方針」までに、役場の中でどんな協議があったのか。自治会にお願いしたのは、総務企画課と教育課だ。それぞれに協議か合同で協議か。その足跡・経過があったら言ってほしい。

総務企画課長 一昨年自治会にお願いさせていただいた際には、うちの総務企画課と教育課、連名といいますが、問合せ先を2つ窓口を設けていた。実際に各自治会からお問い合わせがあったときに、どちらか、あっちかということになったので窓口は一本化した方が良からうということからも、窓口は総務企画課一本とさせていただいた。次に町が定めた方針の起案文書だが、起案文書それだけで方針を決めたのではない。各自治会から集まったアンケート結果というものを色々精査しまして、こ

んな意見があるということから、色んな協議をしまして、どういったまとめをするのが良いかな、というところで、その具体的な記録までは残していないが、町で定める方針は、あまり具体的でないほうが良いかなと。広く今後どういうことになるかわからないので、今すぐの、どう言いますか、これにするあれにするというものは、なかなか定めることは難しいということ、いわゆる幅を持たせたような方針を3点挙げさせていただいた。皆さんから集めた内容を分けるとすれば、この3つかなというところで定めた。

問 色々協議をしたと言われたが、それは総務企画課の中でやったんですね。想像ですけど、会議を開いてやったんですか。

総務企画課長 課の中なかと言いますのも、全ての課員においてではない。必要な人員であるとか、まさに私の一存で決めるわけにもいかなないので、特別

職を含めた協議はさせていただいた。

問 会議はどんなことをやっていても良いのだが、何月何日に会議を開いたという記録が残っているか。

総務企画課長 記録までは残していない。

問 これは、役場の中でも町の方針を出すという重要な仕事だ。単なるアライバイづくりという意味ではなく、こういう協議をしたという記録がなければ、町民に職員の仕事、やったのか、やらんのか、疑われはしないか。そういう意味で、職員がこういうことをやってきたという足跡ぐらいは分かるようにしておくべきではないのか。



質問 役場職員の定年他



一般質問

光元一郎 議員

定年について

問 65歳定年の早期実現と役職定年の廃止を求める。

平均寿命を調べると明治、大正時代は平均寿命が43歳前後とすることで乳幼児の死亡率の高さを考えると50歳前後と推測される、1947年50歳、1951年に60歳、1976年に70歳、2013年には80歳となっている、対して定年については明治後期に考え方が始まり公営企業では1887年に、民間企業では1902年にいずれも55歳で始まっている。法令でいうと1985年に60歳が努力義務1998年に義務化、2013年には希望者は65歳までとなり今年2025年に猶予期間があるにせよ義務化された。この二つを比較すると55歳定年時代の前期では平均寿命よりはるかに定年のほうが長く定年前に亡くなる人も大勢いて、言い換えれば生涯働いていたと考えてもよい。それが逆転して開いて定年後亡

くなるまでに優雅な生活になるか、年金生活になるかわからないが期間は非常に長くなった。体は非常に元気で働ける状態で役場を退職した方でも悠々自適な方もおられるし、就職先を求めて仕事をされている方もいる。年金が65歳での満額支給の現在退職金を食いつぶすのを回避したいのが皆さんの考えだと思う。また能力があるのに60歳で役職定年を迎えることも本人も使うほうもやりにくいと考える。

町長

地方公務員法の改正に伴い令和5年度からの条例改正により令和12年までに段階的に定年を延長し、令和13年度に65歳定年となる。

小中学校について

問

小中学校において不登校やいじめの実態はどうなっているのか。教職員の皆さんの苦労は並大抵のことではないと思うが子供たちの一生につながることにものなり頑張っていたきたい。

町長

不登校の児童生徒は令和

6年度で小学校8名、中学校7名いて、学校・家庭及び関係機関と連携して支援に取り組んでいる。いじめは、令和6年度20件ありすべての事案について速やかな調査と適切な対応を図っている。

町の借金について

問 交付税に算入されるものを除いた実質の残高はいくらか。交付税算入を除いた町債残高より基金残高のほうが町民も安心できるのではないか。

町長

一般会計では令和5年度では町債残高37億3943万円の内、交付税算入されるものが25億4592万円で実質11億1935万円となる。簡易水道事業では町債残高3億1157万円、交付税算入が1億5815万円、差額は1億5342万円、公共下水事業では町債10億926万円、交付税算入5億288万円、差額は5億638万円となる。

「散歩」

飼犬と

朝から散歩

気持ちいい

河合陽茉莉

町村議会議長・副議長研修会に参加

5月27日東京国際フォーラムで開催された「令和7年度



町村議会議長・副議長研修会」に、杉本議長と政廣副議長が参加しました。

本年度の研修テーマは「防災」で「災害対応力の強化に不可欠な防災DX」、「災害に学ぶ復旧復興まちづくりの課題」、「災害と議会・議員の役割」などいろいろな視点からの災害対策について、各分野の専門家による講義が行われ、有意義な研修となりました。



インターネットで議会中継をご覧ください

久米南町議会では、町民の皆様に開かれた議会とする取組の一環として、本会議の様子をインターネット中継（生中継・録画中継）により配信しています。

視聴にあたっては、インターネットで「久米南町議会 配信」と検索していただくか、本ページ右下のQRコードでアクセスしてください。また、今月号から議会広報の各議員のページにあるQRコードから直接各議員の一般質問をご覧いただくことができますようになりましたので、是非ご覧ください。



編集後記

梅雨も例年より早く明け、酷暑が日々続いております。熱中症の危険も増している今日この頃です。皆さん、お身体にはくれぐれもお気をつけてください。

昨年より大きな話題になっている、米不足、米価高騰、政府による備蓄米の放出もありましたが不安は収まりそうありません。新米の収穫も近くなってきました。今後米価がどの様になっていくか注視していきたいと思っています。（河原重義）



議会広報編集委員会

立石祐一 ・ 近藤賢司
小坂 守 ・ 河原重義

久米南町議会だより第90号（令和7年8月15日発行）

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 TEL 086-728-2112

